

## 部活動に係わる活動方針

### 1 部活動の意義

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものである。

学校教育の一環として行われる部活動は、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義が高いと考える。

### 2 開設する部活動

バドミントン、卓球、美術

### 3 運営のための体制整備

本校では、部活動を通して個々の能力の伸長を図り、強健な身体や強い意志を育成し、教師と生徒、生徒同士の一層の深い人間関係を築くことを目的として、中学校教員全員でその運営に当たっている。

### 4 指導・運営に当たっての留意点

- ・活動を終了したら、速やかに帰宅させる。(バスに乗り遅れないようにする)
- ・決められた活動場所を離れない。水のみ・トイレ以外は他の場所へ行かせない。
- ・他校と練習試合をするときには原則として現地集合・現地解散とし、まとまって行動させる。なお、会場には学校指定のジャージで行き、福移中学校の生徒として恥じない行動をさせる。
- ・活動場所に荷物を持って来させる。(教室に荷物を置かせない)
- ・自分の所属する部以外の部には、活動参加させない。
- ・学級・委員会活動がある場合は、それを優先させる。
- ・活動に使用するもの以外の物、不要物は持ってこさせない。
- ・準備運動をしっかりと行わせ、怪我をしないよう十分に気をつける。
- ・後片付けをきちんと行わせる。
- ・欠席・遅刻・早退をする場合は、指導者に連絡させる。
- ・活動は、運動系の部活に関しては、体育時の服装か、ユニフォームとする。
- ・顧問の指示に従わなかったり、部員として問題を起こした時には、顧問会議をひらき、部活動停止処分とすることもある。

### 5 部活動活動基準(札幌市立学校における部活動基準に基づき設定)

- ・少なくとも月に1回は、学校として平日にすべての部活動の休養日を設定する。
- ・毎週、土曜日または日曜日のいずれかを休養日とする。
- ・少なくとも週に1日は、平日に休養日を設定する。
- ・通常の練習時間は、平日2時間程度とする。
- ・土日、祝日、長期休業期間中の練習時間は、3時間程度とする。
- ・練習試合は、半日で終了するよう設定する。
  - ※過重な活動とならないよう留意すること。
  - ※大会直前等については、生徒の負担度合い等を考慮した上で、この基準によらず活動を行う場合があります。